



www.OptionClub.net

オプション倶楽部TV



【売坊流】グレイ・リノ分析

米長期金利急騰、GDPの 7割占める個人消費に暗雲

この番組では日本株や米国株のトレード
に役立ちそうなイベント、**グレイ・リノ**、
異常値について紹介していきます！



OP売坊



OP売坊の**グレイ・リノ**

サイは普段おとなしいが
怒ると、とっても怖いのだ

- 🐘 気候変動による食料価格高騰・食料危機
- 🐘 新型コロナに続く新たなパンデミックの発生
- 🐘 世界的な人口減少
- 🐘 地政学的リスクの複雑化（ウクライナ・**中東**・中国など）
- 🐘 日米欧でスタグフレーション（景気後退＋インフレ）確定か？
- 🐘 日米欧中の経済・財政政策の不確実性（債務増加）
- 🐘 **米個人消費に暗雲**
- 🐘 高利回り債（ジャンク債）市場の崩壊
- 🐘 **基軸通貨「米ドル」の没落とBRICSの台頭**
- 🐘 下院議長解任後の米国の大統領選挙と日本の解散総選挙
- 🐘 日本の2023・24・25・30・40年問題と預金封鎖
- 🐘 日銀YCC政策の限界と増税ラッシュ
- 🐘 **中国の不動産バブル崩壊懸念と景気失速**
- 🐘 **バフェット指数（株式時価総額÷名目GDP）の異常値**
米国：158.4（10月4日概算）、174.2（7月19日概算）
日本：141.8（10月5日概算）、153.8（6月16日概算）



イスラエルとハマス
（ガザ地区を実効支配する組織）の戦闘
が勃発しました。これを受けて原油が小
反発しています。原油高からの金利上昇、
株安の可能性は否定
できないでしょう

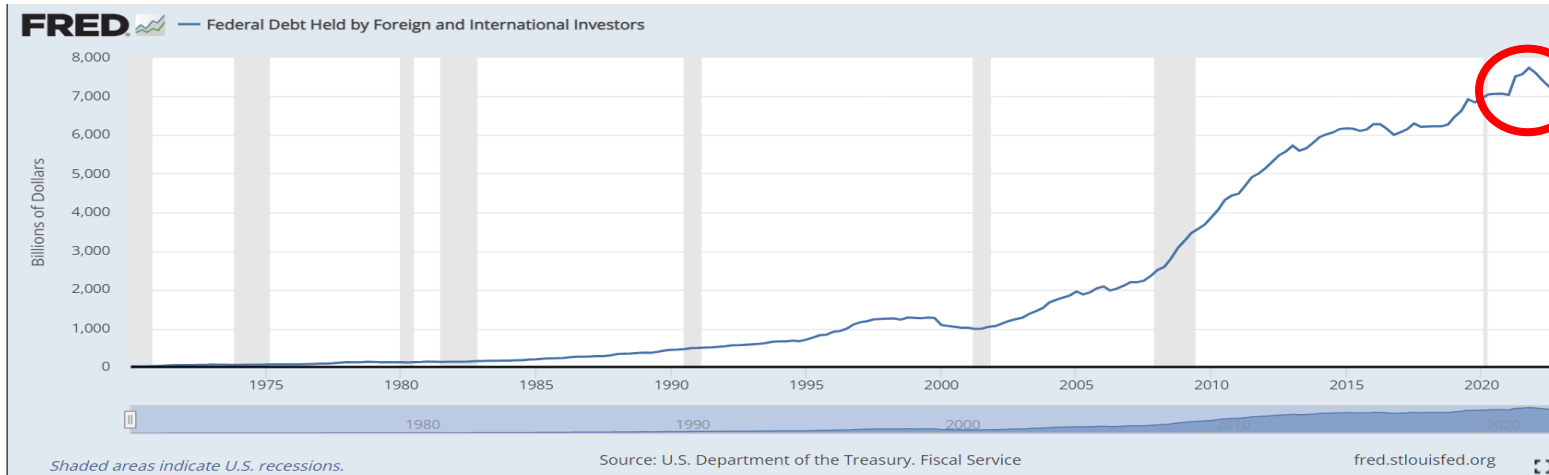
など

グレイ・リノ（灰色のサイ）とは、高い確率で大きな問題を引き起こすと考えられるにも関わらず、軽視されている事象のこと。それが**起これば大きな値幅が出る**ため、OPトレーダーに重要となる。特に**PUT買い**を仕掛けられる可能性や、破産もあり得る**PUT売り**を避けられる可能性が高くなる。



諸外国の米国債保有高は減少傾向

米国外投資家の米国債保有残高（十億ドル）



出所) セントルイス連銀

国別の米国債保有残高（十億ドル・赤色は2023年のピーク）

順位	国名	2023年7月	2023年6月	2023年5月	2023年4月	2023年3月	2023年2月	2023年1月	2022年7月
1	日本	1,112.5	1,105.6	1,096.8	1,127.2	1,087.9	1,081.8	1,104.4	1,230.7
2	中国	821.8	835.4	846.7	868.9	869.3	849.0	859.4	939.2
3	英国	662.4	672.3	660.4	675.6	704.9	635.1	660.7	636.6
4	ルクセンブルグ	349.9	331.8	333.8	332.3	328.5	327.2	318.1	306.5
5	ベルギー	318.7	332.4	335.5	336.6	337.0	330.9	331.1	285.4
6	スイス	301.5	305.7	304.4	298.3	305.4	290.1	290.5	283.1
11	インド	233.1	235.4	238.3	238.7	237.9	231.2	232.0	212.0

出所) FRB

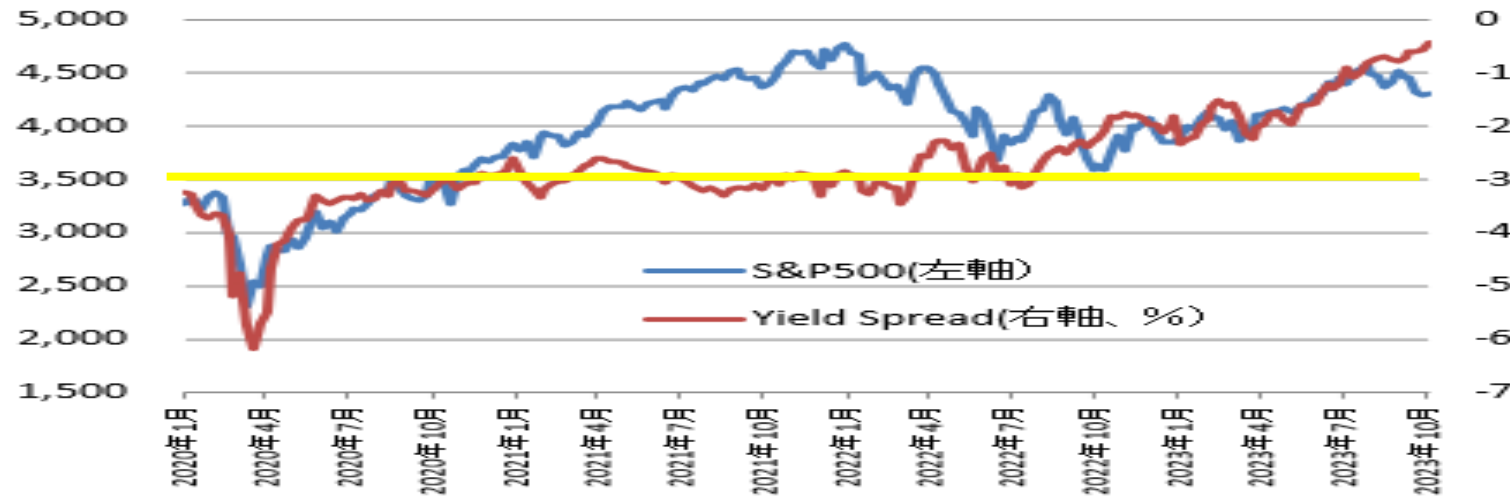
海外投資家が米国債の保有を減らしています。ひとつは米ドルの信認低下でしょう。もうひとつは、長期債から短期債への資金シフトの動きでしょう。一段と金利が上がる環境では、満期（デュレーション）を短くしているということです

中国の米国債保有残高の減少が特に目立っているものの、英国など他国も徐々に減らしている状況です。今後も減らしてくるかに注目しています



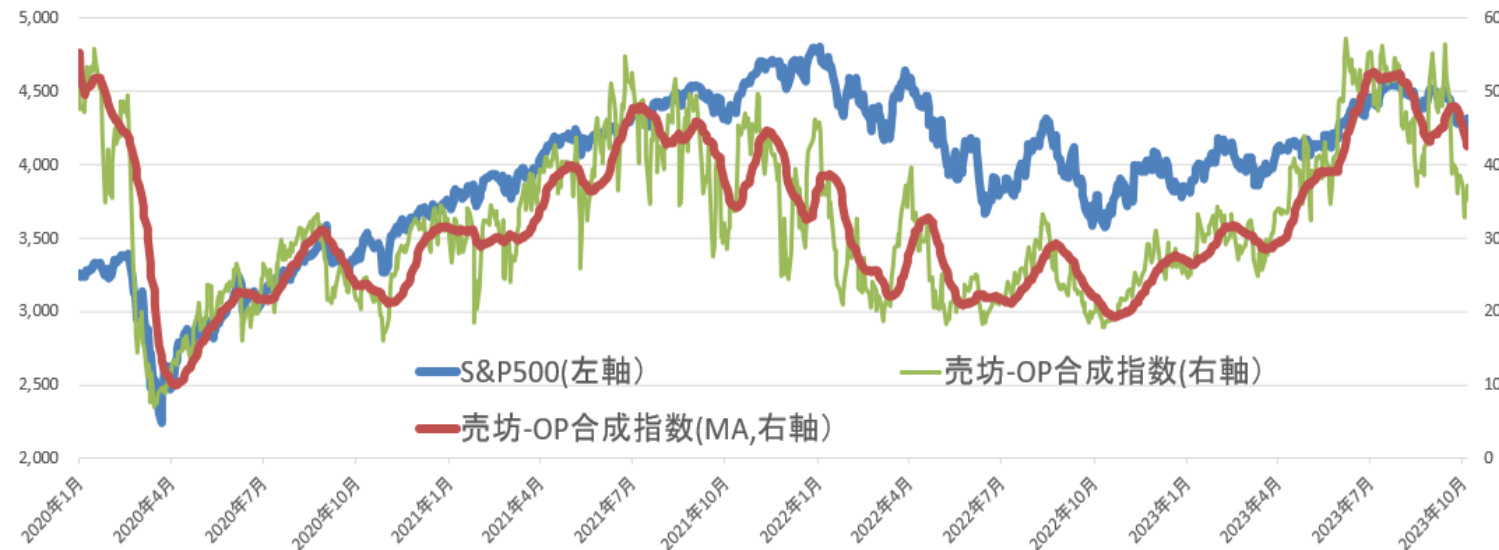
米国債の利回り上昇が米国株の割高感をさらに強める

イールド・スプレッド（10年物米国債利回りとS&P500益利回りの差）とS&P500



イールド・スプレッドが-0.5を超えてしまいました。株式も債券も不人気ということですね。ただ、株式については、景気への期待、つまり業績回復への期待がまだ残っているということでしょう

売坊-OP合成指数（S&P500）とその移動平均



合成指数はすでにピークアウトしていたのが見てとれます。下降モードになっています。ただ、日々の指数がボトムアウトしつつありますので、底入れ反発の可能性が出てきそうな、微妙な位置です



米インフレの高止まりが各所にひずみを

クリーブランド連銀のCPI（消費者物価指数）予想

INFLATION, YEAR-OVER-YEAR PERCENT CHANGE

Month	CPI	Core CPI	PCE	Core PCE	Updated
October 2023	3.48	4.19	3.26	3.69	10/06
September 2023	3.69	4.17	3.45	3.73	10/06

出所) クリーブランド連銀 (2023年10月6日現在)

12日に発表される米国の9月分CPIをク連銀は8月分(3.7%)とほぼ横ばいと予想し、10月分は低下すると予想しています。ただし、コアCPIは上昇を予測しています

低格付け債（ジャンク債）利回り



出所) クリーブランド連銀、セントルイス連銀

弱いところにしわ寄せが出始めています。ジャンク債の利回りがかなり上昇してきました。前回の高値を超えてくると、ムードが変わるかもしれません



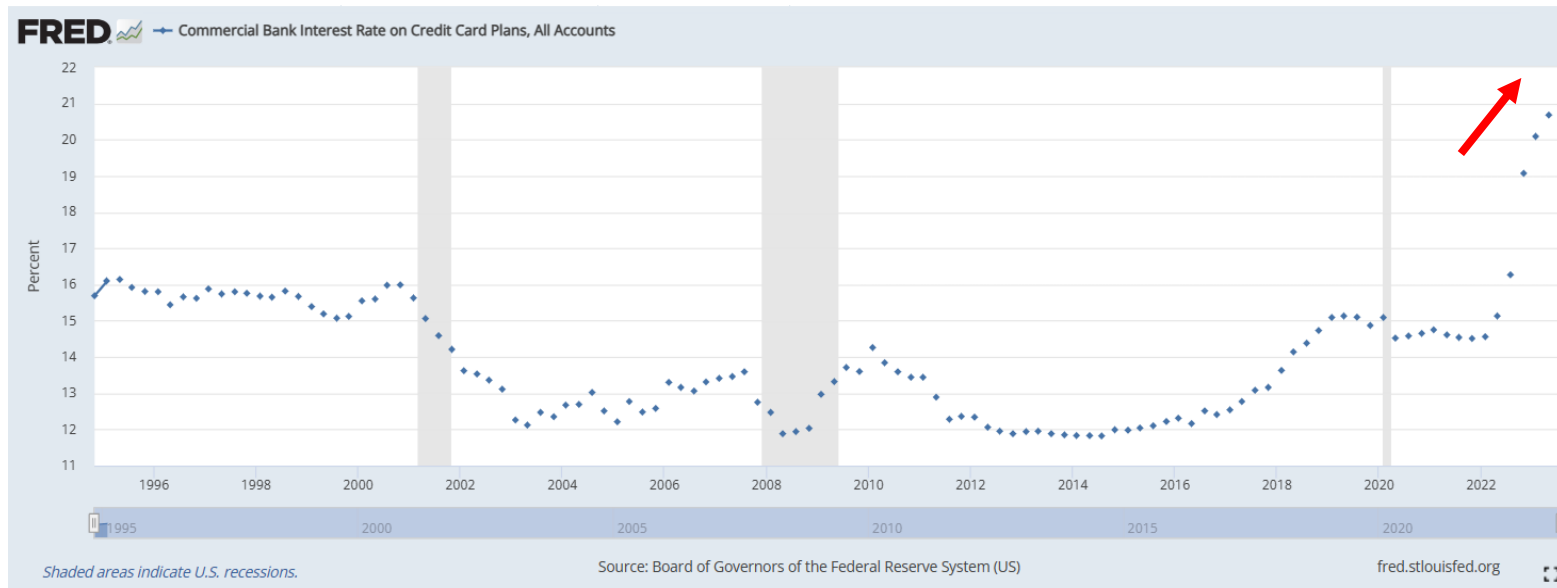
米GDPの7割を占める個人消費に暗雲も？

クレジットカード延滞率は上昇中（2023年4-6月期：2.77%）



物価高が続くなか、クレジットカードの延滞率はこれから一段高となる可能性が高いと考えています

クレジットカードローン金利（2023年8月：21.19%）



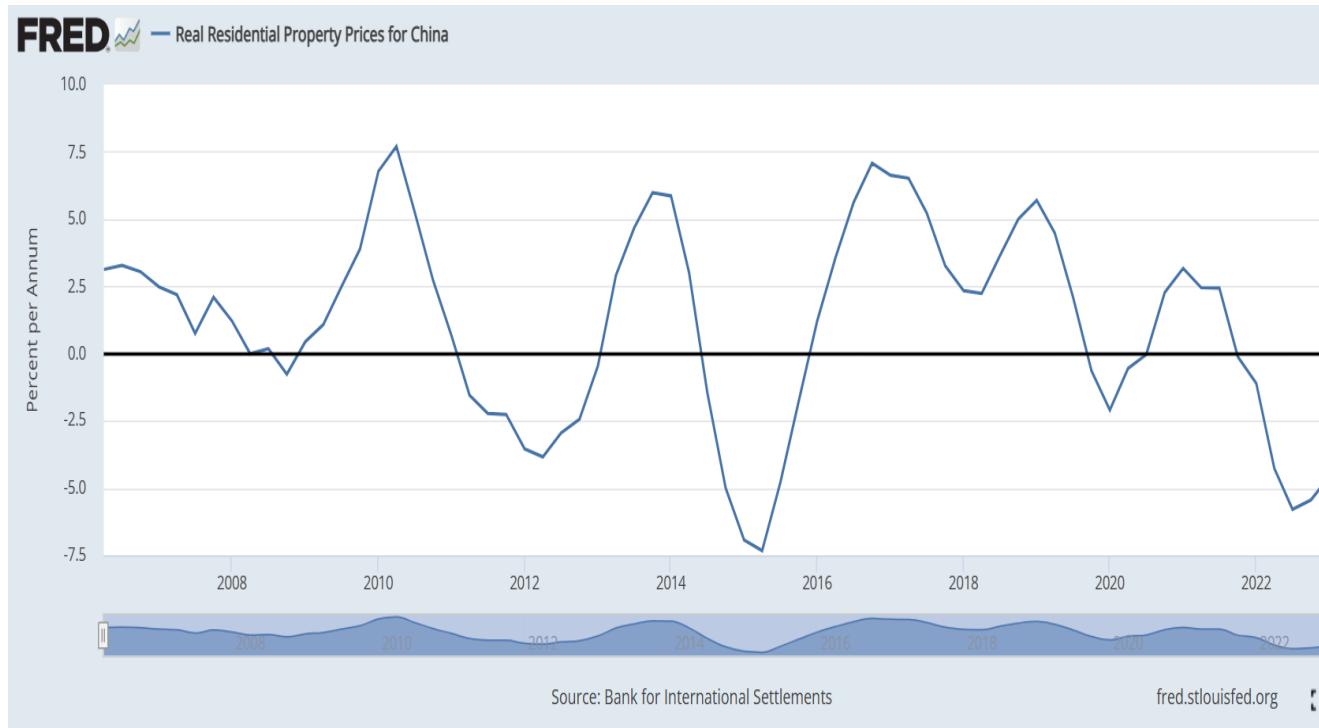
金融機関の財務内容が悪化しているとみています。再度、地銀の破綻があるかを警戒しています。また、カードローン金利の上昇は米国GDPの約7割を占めている個人消費の減退を示唆しているかもしれません



中国経済は輸出と不動産が低迷中

- 8月製造業PMI（購買担当者景気指数） 49.7（5カ月連続で50割れ）
- 8月新規輸出受注指数 46.7（5カ月連続で50割れ）
- 8月新築住宅平均価格（主要70都市） 前月比▲0.3%

中国の実質住宅価格指数



中国の輸出が低迷しているのは、中国への制裁や世界経済のブロック化もありますが、日米欧の経済が低迷し始めているということでしょう

中国GDPの2～3割が不動産関連といわれています。そのなかでCNNは中国で売残りマンションが3000万戸（8000万人分）、空き家マンションが1億戸（2億4000万人分）程度あると推測できると報じています



インド経済は好調

世界銀行の経済成長率予測（2023年 6月）

	2020	2021	2022e	2023f	2024f	2025f	2023年1月予測から	
							2023f	2024f
世界	-3.1	6.0	3.1	2.1	2.4	3.0	0.4	-0.3
先進国	-4.3	5.4	2.6	0.7	1.2	2.2	0.2	-0.4
米国	-2.8	5.9	2.1	1.1	0.8	2.3	0.6	-0.8
ユーロ圏	-6.1	5.4	3.5	0.4	1.3	2.3	0.4	-0.3
日本	-4.3	2.2	1.0	0.8	0.7	0.6	-0.2	0.0
新興国・途上国	-1.5	6.9	3.7	4.0	3.9	4.0	0.6	-0.2
インド ²	-5.8	9.1	7.2	6.3	6.4	6.5	-0.3	0.3
中国	2.2	8.4	3.0	5.6	4.6	4.4	1.3	-0.4
インドネシア	-2.1	3.7	5.3	4.9	4.9	5.0	0.1	0.0
タイ	-6.1	1.5	2.6	3.9	3.6	3.4	0.3	-0.1

出所：世界銀行

注1）：e=推定値、f=予測値。

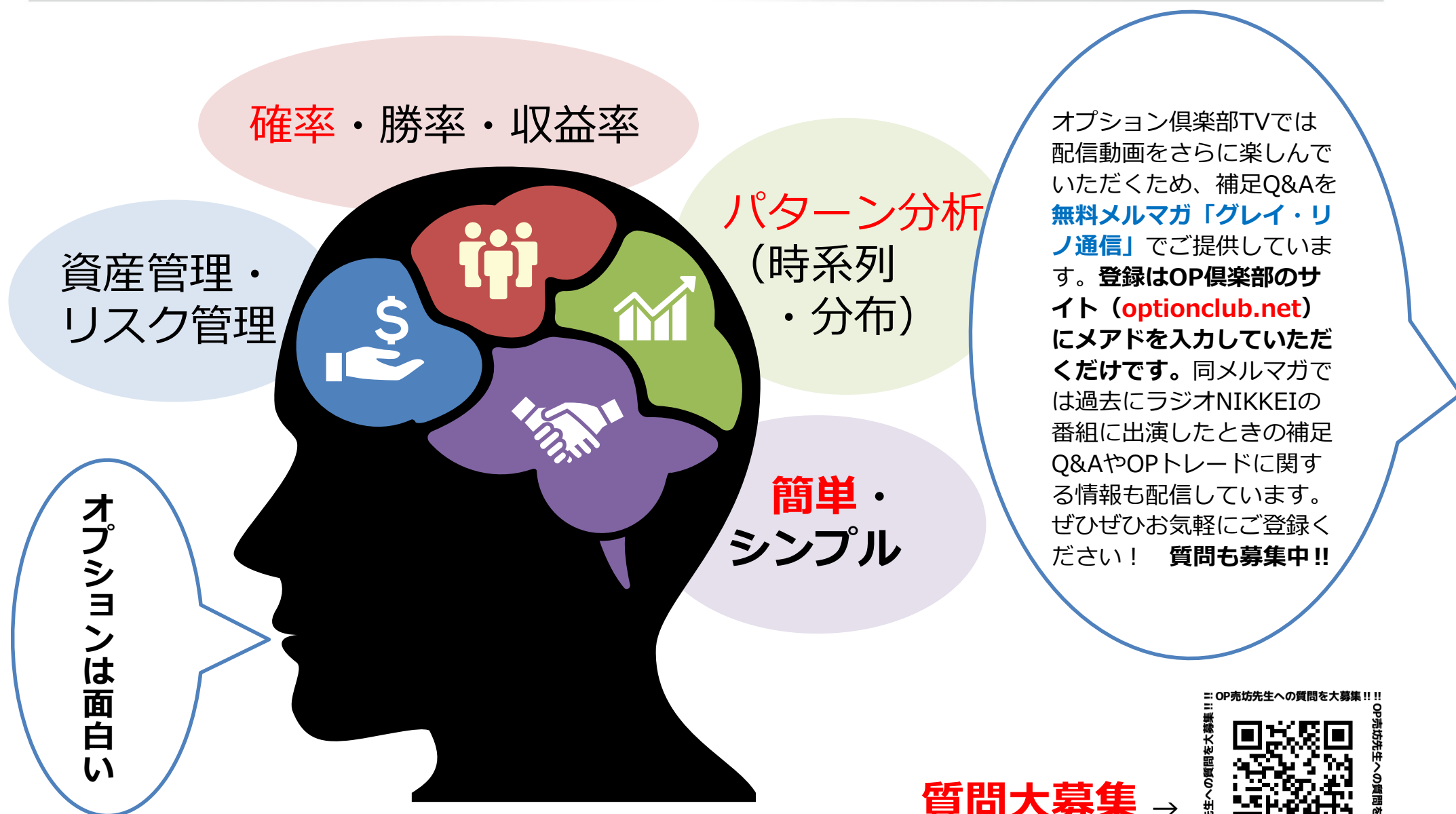
注2） GDP成長率は会計年度ベース。インドは、2022年との表示は、2022/23会計年度

10月3日、据え置くと発表

10月2日、4.4%に下方修正

インド経済が相対的に好調なのは、人口構成、人口ピラミッドの形状をみると10歳までは若年層が多いピラミッド型になっているからです。平均年齢が30歳未満なども大きな要因です

OP売坊の重要視しているもの



質問大募集 →

<http://trs.jp/r/op-form>





日経225オプショントレード入門セミナー

11月25日（土）10時～（オンライン開催）

*Find Your
Options!*

不透明な時代、225OPで運用の幅を広げてみたい方のために

特典1 受講前に『売坊流OPトレード実践Q&A』を進呈!!

特典2 受講後に『入門テキスト』を進呈!!

【講演予定】

- ① 入門戦略「**日経225CALL売りトレード**」の優位性と心構え
- ② **最適**な権利行使価格を選ぶコツ
- ③ **警戒**すべき局面とは
- ④ **最新**の日米市場分析
- ⑤ 補完戦略「**日経225OP買いトレード**」の勘所



**今なら最大半額!!
早期割引中**

↓↓↓詳細は…↓↓↓

専用ページ <https://www.tradersshop.com/bin/showprod?c=2011448400008>

オプション倶楽部 検索



【オプション倶楽部】OP売坊戦略コース



一緒に資産運用の達人を目指しませんか？

12月開講の新規会員 20名様限定募集

充実の180日間!!

(2023年12月～2024年5月末)

米国株OP戦略やFX-OP戦略なども紹介

Find Your Options!

<実践を支える7つのコンテンツ>

- ① 学習プログラム（動画：全7編66回）
- ② 週次レポート（日米市場分析・今週の戦略など）
- ③ 月次セミナー（オンライン生配信とオンデマンド配信）
- ④ アラートメール（暴騰・暴落注意報など）
- ⑤ 個別質問掲示板（スレッド形式で過去の質疑応答も閲覧可）
- ⑥ リスク管理エクセルシート（225OP用と米国株OP用）
- ⑦ 入門テキスト（PDF：索引付き）

99%の確率で年率15%の収益を安定的に稼ぐことを目的としています。成功へのカギは確率統計とリスク管理だけ！



専用ページ <https://www.tradersshop.com/bin/showprod?c=2011448500005>

オプション倶楽部

検索

最後までご清聴、誠にありがとうございました。

OP売坊ブログ『実践オプション教室』

<https://www.jissennkop.blog.fc2.com>

OP売坊X（旧ツイッター）『@OP49431790』

<https://twitter.com/OP49431790>

Copyright © 2019-2023 OP売坊 / Pan Rolling Inc.

All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.

免責事項

- オプション倶楽部TV（以下「本動画」）で使用した図表・数値などは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。
- 本動画に掲載された情報・図表・資料は、あくまで金融知識の向上と情報提供を目的としたものです。証券など金融商品の売り買いを提案・勧誘するためのものとして、また証券など金融商品について助言・推奨するものとして、利用・解釈しないでください。
- 本動画は一般向けに編集されています。特定の投資目的・特定の投資環境・特定の投資家を一切考慮していません。事前に専門家の適切な助言を受けるべきですし、最終的な投資判断は、個々人が個々の状況を考慮して、自らの責任で下すようにしてください。
- 本動画に基づく行為の結果、発生した障害・損失などについて講師およびパンローリング社は一切の責任を負いません。
- 本動画に記載されたURLなどは予告なく変更される場合があります。
- 本動画に記載されている会社名・製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。



YouTubeで『オプション倶楽部TV』を配信中！

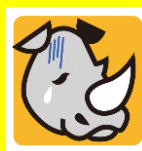
水曜22時からパンローリングチャンネルで！！



3つの視点で日本株・米国株・為替などの市場を大きく揺るがしそうな材料を分析します



第一週
政治経済イベント分析



第四週※
異常値分析



第二週
グレイ・リノ分析

第五週はトレード・投資に役立つ
OPワンポイント解説



第三週※はラジオNIKKEI月曜16時～

『キラメキの発想』に出演！

<https://www.radionikkei.jp/kirameki/>

※祝日や暦などによってラジオ出演と異常値分析が入れ替わる場合があります。



ラジオ放送も情報提供の一環と位置づけており、ラジオ出演週の水曜配信は、お休みとさせていただきます。

専用ページ <https://www.panrolling.com/tv/opctv.html>



ぜひ無料メルマガ『**グレイ・リノ通信**』にご登録ください！

売坊先生のYouTube動画を何倍も楽しめる

補足記事やOPトレードに関する情報を配信中！

詳細・登録は www.OptionClub.net から



- ・日銀金融政策決定会合はOP**買い**戦略のチャンス!?
- ・最近の裁定売り残・買い残の推移から、どのようなことがみえてくるのでしょうか？
- ・中国が着々と米国債を売って金を買っている!?
- ・米国株の「不都合な真実」とは何でしょうか？
- ・OP**買い**戦略で確認・対処すべきポイントとは？
- ……など

読者には入門セミナーと本コースの受付を**先行・優先でご案内**いたします

オプション倶楽部

検索